

ミャンマー

主要データ

国名〔英名〕	ミャンマー連邦〔Republic of the Union of Myanmar〕
面積(km ²)	676,578
海岸線延長(km)	1,930
人口(百万人)	54.0
人口密度(人/km ²)	79.8
GDP(百万US\$)	42,953
一人当りGDP(US\$)	702
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛
主要鉱産物：地金	銅、鉛
鉱業管轄官庁	鉱山省(Ministry of Mines, Myanmar:MMM)
鉱業関連政府機関	鉱山局(Department of Mines:DOM) 地質調査鉱物探鉱局(Department of Geology Survey & Mineral Exploration:DGSE)
鉱業法	鉱山法(Mines Law、1994年9月) 鉱山規則(Mines Rules、1996年12月)
ロイヤルティ	貴金属4~5%、その他金属3~4%(売上高ベース) 鉱区料：概査段階(1年間のみ) 15US\$/km ² 探鉱段階1年目 30US\$/km ² 、2年目 60US\$/km ² 生産段階 500US\$/km ²
外資法	ミャンマー連邦外国投資法(Foreign Investment Law、1988年11月)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	なし
鉱業公社	第1鉱山公社(No.1 Mining Enterprise:ME1 非鉄金属全般) 第2鉱山公社(No.2 Mining Enterprise:ME2 錫) 第3鉱山公社(No.3 Mining Enterprise:ME3 鉄、石炭、工業用鉱物他)
鉱業活動中の民間企業	なし
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	国営企業法により金属の採掘、製錬、輸出は国営企業が実施しているため、民間企業の参入には制限有り
2010年のトピックス	2010年11月、20年ぶりの総選挙が実施され、軍事政権が総選挙のために創設した「連邦団結発展党」が約8割の議席を制することとなった。総選挙後2011年3月に前テインセイン首相が大統領に就任し、ミャンマーに新政権が誕生し、民政移管が行われた。しかしながら、軍事政権時代から大きな変化は期待できないと見る向きは多く、また、欧米は総選挙自体が民主的に実施されていないなどとし、現時点で経済制裁の解除には至っていない。

1. 鉱業一般概況

- ・ Monywa 銅鉱山は、権益の 50%を保有する Ivanhoe Mines Ltd. が 2007 年 2 月にその権益を信託機関に寄託し撤退。第 1 鉱山公社 (No. 1 Mining Enterprise: ME1) による運営が行われている。2010 年の銅生産量 (SX-EX カソード) は 11,900 t であった。
- ・ 2008 年から建設が進められていた Tagaung Taung ニッケル鉱山が 2011 年 3 月に生産を開始した。ニッケル地金 22 千 t、ニッケル・マット 85 千 t の年産規模となる。本鉱山開発プロジェクトは、採掘・製錬・加工からなる大規模プロジェクトで、総投資額は 8.2 百万 US\$, 埋蔵鉱石量 50 百万 t、品位 Ni 1.4%、ニッケル量 700 千 t、マインライフ 20 年間となる。中国有色鉱業集团公司 (CNMC: China Nonferrous Metal Mining (Group) Co. Ltd.)、と第 3 鉱山公社との間で共同開発案件として 2008 年 7 月に鉱山生産契約が締結され、建設に着手された後、2010 年 7 月に中国・太原鋼鉄 (TISCO: Taiyuan Iron & Steel Co) がプロジェクトに参入している。
- ・ China Nerin Engineering と Wanbao Mining との MA Copper 銅プロジェクトなどを始めとした、中国企業によるミャンマーの鉱物資源分野への探鉱・開発投資が活発化している。

2. 鉱業政策の主な動き

特になし

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
銅 (千 t)	6.9	9.2	11.9	29.3
鉛 (千 t)	3.4	2.7	7.1	163.0
亜鉛 (千 t)	5.2	5.4	8.6	59.3
錫 (千 t)	0.6	0.6	0.4	-33.3
タングステン (t)	100	90	167	85.6

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
銅 (千 t)	6.9	9.2	11.9	29.3
鉛 (千 t)	0.2	0.2	0.2	0.0

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出货量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業（権益：％）	鉱種	生産量（千 t：年）	備考
Monywa 鉱山	No.1 Mining Enterprise (50) Monywa Trust (50)	銅（SxEw カリト）	11.9	2010 年生産量

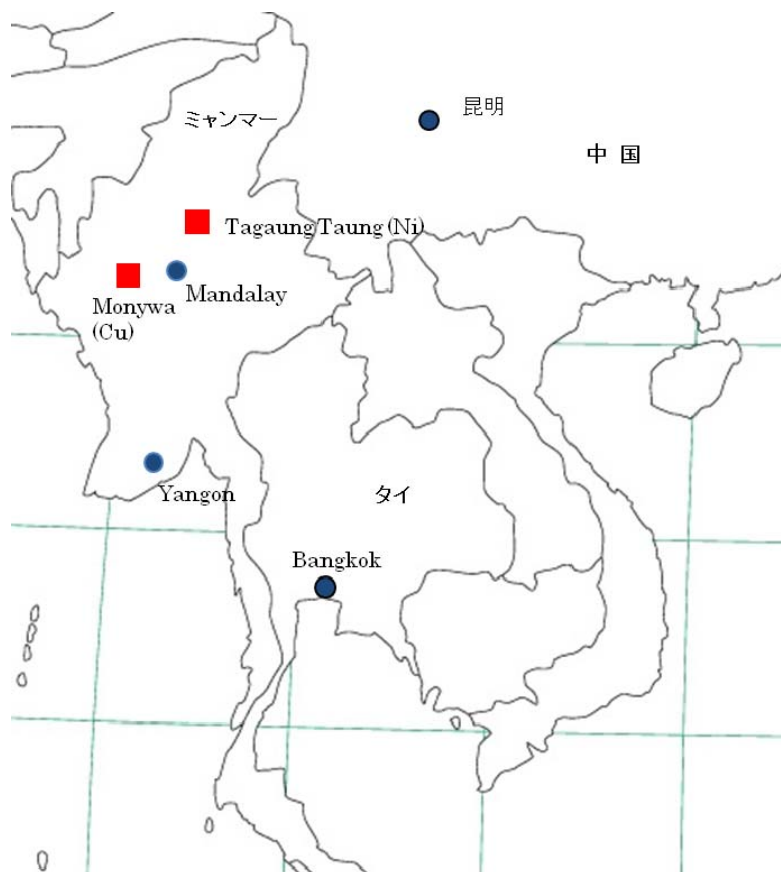


図 1. 主要鉱山位置図

5. 探鉱状況

特になし

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

日本への精鉱及び地金輸出量（マテリアル量）

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	2010 年増減率（％）
銅地金（t）	299.3	299.3	200.2	-33.1

（出典：財務省貿易統計）

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

2010年11月7日、ミャンマーでは20年ぶりの総選挙が実施され、軍事政権が総選挙のために創設した「連邦団結発展党」が約8割の議席を制することとなった。総選挙後の2011年1月に連邦議会を招集、3月に前テインセイン首相が大統領に就任し、ミャンマーに新政権が誕生し、民政移管が行われた。しかしながら、軍事政権時代から大きな変化は期待できないと見る向きは多く、また、欧米は総選挙自体が民主的に実施されていないなどとし、現時点で経済制裁の解除には至っていない。

(2011.7.29 ジャカルタ事務所 高橋健一)